

メッセージ： 越えられない川

OICの皆様おはようございます。  
ようこそ天の父なる神の家へ来られました。

前回のヨシュア記のメッセージで、私は次のようなコメントで締めくくりました：  
最後にヨシュアは、ヨルダン川を渡って行くために、どのようにして成功し、勝利するのかをイスラエルの民に語ります。

<ヨシュア記3章11節>

11 いいですか。全地の支配者である主の契約の箱が、先頭に立って、ヨルダン川を渡ろうとしている。

イエス様は目に見えないですが、私たちはイエス様の血潮の新しい契約の箱、イエス・キリストに目を向けることができます。〈ヘブル人への手紙 12章2節〉のように、私たちはイエス様に目を向け、焦点を合わせます。

<ヘブル人への手紙 12章2節>

あなたがたの信仰の指導者であり教師であるイエスから、目を離さないようにしなさい。イエスは後にある喜びを知って、恥辱をものともせず十字架にかかられました。そして今は、神の王座の右に座しておられるのです。

イエス様はその完璧な従順の中で、始められたことを終えられたと示されました... 十字架に至るまで。イエス様は私たちの信仰を開始し、完成させる王者です。イエス様は私たちがヨルダン川を渡ることが不可能に思えるような多くのヨルダン川を渡れるようにしてください。もし私たちの信仰が小さすぎるなら、イエス様は私たちの信仰を成長させ、さらにより完全な信仰、もっとイエス様のような信仰にしてください。神様は、私たちの救い主であり主である御子イエス様に栄光をもたらすために、私たちの人生における疑念を取り上げることを得意とされます。

今週は、ヨシュアの指導の下、イスラエルの民がまた救いの奇跡の体験をすることを追います。ファラオの軍隊からではなく、春の氾濫期には渡れないヨルダン川という通過不可能なことを通しての奇跡です。私たちは皆、時として洪水時のヨルダン川のような、「渡れない川」のような試練に直面することがあります。ヨシュアの神様は私たちの神様でもあります。私たちの神様は、自然的な状況も霊的な状況も、ヨルダン川のように干上がらせる力を持っておられます。だから私たちは、イエス様と一緒に渡って行き、前に進むことができるのです。

<ヨシュア記 3章8節>

8 契約の箱をかつぐ祭司たちには、水ぎわに来たら水の中に立つよう命じなさい」と告げました。

その時点で、イスラエルの人々はヨシュアとヨシュアを通して主なる神様を信頼していました。ですが、なぜ司祭たちは川に数歩入って、そこで止まれと命じられたのか、イスラエル

の人々は不思議に思ったに違いありません。＜ヨシュア記 3章9節-13節＞を読むように、ヨシュアはイスラエルの人々の信仰を長く試すことはありませんでした。

#### ＜ヨシュア記 3章9節-13節＞

- 9 ヨシュアは人々を召集し、語りました。「さあ、よく聞きなさい。主のことばを告げよう。・  
10 生ける神があなたがたのうちにおられ、カナン人、ヘテ人、ヒビ人、ペリジ人、ギルガシ人、エモリ人、エブス人など、やがて占領する地の全住民を必ず追い払ってくださることが、今日、はっきりわかるだろう。  
11 いいですか。全地の支配者である主の契約の箱が、先頭に立って、ヨルダン川を渡ろうとしている。  
12 今、各部族から一人ずつ、十二人を選びなさい。  
13・(14) 箱をかつぐ祭司たちの足が川に入った瞬間、流れはせき止められるだろう。まるで見えない壁にはばまれたように、水は盛り上がるはずだ。」

十二人の男性たちがヨルダン川横断後にどのような役割を果たしたかは、後ほど見ていくことにしましょう。しかしその前に、ヨシュアはイスラエルのすべての民に奇跡が起こることを預言します：祭司たちの足が水に触れるやいなや、水の流れは上流で絶たれ、川は壁のように立ち上がります。

ヨルダン川の水をとめ、川の水が壁のように立ち上がることなど、「大いなる紅海からの脱出」に比べれば小さなことに思えるかもしれません。＜出エジプト記 14章14節-16節＞を読みます。

#### ＜出エジプト記 14章14節-16節＞

- 14 主が代わりに戦ってくださる。だから、みんなは指一本、動かす必要もない。」  
15 主はモーセに命じました。「いつまでもわたしに叫び求めないで、人々を前進させなさい。  
16 杖を海（紅海）の上に差し伸べると、水が分かれて道ができる。その乾いた土の上を歩いて海を渡りなさい。

(14節)で、神様がモーセの試練に際して、「ただ落ち着いていなさい（英語の聖書訳）」と指示したことに注目していただきたいです。（日本語の聖書訳は、「みんなは指一本、動かす必要もない。」です。）モーセは主なる神様に寄り添って歩んでいました。しかし、モーセの肉体的な弱さは、イスラエルの人々を恐れではなく、信仰に導くために試されていました。そして神様は、「祈りの中で泣くことをやめなさい、先に進みなさい。」とあきらかに言われます。そして神様は紅海を分ける奇跡を約束されます。

#### 危機管理トレーニング

主なる神様がその指導者たち、モーセとヨシュア、そして使徒ペテロに与えたいいくつかのポイントは、今日、危険な状態に陥ろうとしている私たちすべてのクリスチャン、指導者達やイエス様に従う者達にも当てはまります。モーセはエジプトから脱出する際、ファラオの殺人軍団がすぐあとに追っていました。ヨシュアはモーセの後任として、奇跡的な出来事を必要とする最初の使命を負いました。ペテロは、ユダヤで新しいキリスト教の教師イエス様の指示に対してチャレンジが与えられ、プロの漁師としての能力が試されることがありました：

1. 危機に陥ったとき、モーセが紅海で神様から教えられたように、私たちは主イエス様の御前で平静を保つことが大切です。＜ピリピ人への手紙 4 章 6 節＞のようにこのような状況のための聖書の箇所はたくさんあります。

＜ピリピ人への手紙 4 章 6 節＞

何事も心配しないで、どんな時でも神に祈りなさい。そして、祈りに答えてくださる神に感謝しましょう。

多くの聖書訳は、「*New American Standard Bible 1995*」のようにこの節を「何事にも思い煩うな」と始めています。

6 何事にも思い煩うことなく、すべてのことにおいて、感謝をもって祈りと願いによって、あなたがたの願いが神に知らされるようにしなさい。

多くのクリスチャンはこの聖書箇所の教えを、自分自身の決断で＜ピリピ人への手紙 4 章 6 節＞の教えをしなければならぬという意味だけに受け取っています。神様に従う意志は私たちの中になければなりません、祈りなくして神様に従おうという力は私たちにはありません。つまり、この＜ピリピ人への手紙 4 章 6 節＞を、私たちの神様、憐れみと励ましのお神様の観点から見なければなりません。私達人生の多くの試練において、私たちイエス様を信じる者は不安に屈しないために多くの祈りを必要とするかもしれません。明確な答えを求める祈りよりも、「不安であること」に対する勝利の祈りの方が重要なのです。私がこう言う理由は不安は私たちの敵だからです。不安は、私たちが「聖霊なる神様の静かな平穏な御声」を聞くことを妨げます。新約聖書の中で、使徒パウロは「不安と心配」の時の祈りについて、4つの異なるギリシヤ語を用いています。

- 1) 「祈り」(proseuche) 一般的な祈り。
- 2) 「Entreaty, Supplication (Deesis.)」特別な祈りの必要な時、または「主よ、助けてください」という祈り。この祈りは、あなたの人生で越えられない川に直面する時の祈り。
- 3) 「感謝」(eucharista) は、同じような状況で祈りへの過去の神様の答えを振り返る祈り。
- 4) 「リクエスト」(altemata) とは、具体的な必要への具体的な要望のことで、必ずしも実勢に緊急性や危機的状況とは限らない祈り。

私たちが思い煩い、心配に押しつぶされそうに思えるとき、神様の全能の支配に信頼することで、私たちは神様の平安を得ることができます。＜ローマ人への手紙 8 章 28 節＞は言っています。

＜ローマ人への手紙 8 章 28 節＞

私たちは、神を愛し神のご計画のうちを歩んでいる人のためには、その身に起こることはすべて、神が益としてくださることを知っているのです。

2. 私たちの大きな自信は神様の約束にあります。自分自身ではなく、神様の約束にあるのです。

- 1) モーセへの＜出エジプト記 14 章 14 節＞で

主が代わりに戦ってくださる。だから、みんなは指一本、動かす必要もない。」

- 2) ヨシュアへの＜ヨシュア記 3 章 10 節＞

生ける神があなたがたのうちにおられ、カナン人、ヘテ人、ヒビ人、ペリジ人、ギルガシ人、エモリ人、エブス人など、やがて占領する地の全住民を必ず追い払ってくださることが、今日、はっきりわかるだろう。

3) ペテロへ -プロの漁師であるペテロが、イエス様と一緒に舟に乗っていたことを覚えていますか。＜ルカの福音書 5 章 4 節-5 節＞を読みます。

4 話が終わると、イエスはシモンに言われました。「さあ、もっと沖へこぎ出して、網をおろしてごらんなさい。」

5 「でも先生。私たちは夜通し一生懸命働きましたが、雑魚一匹とれなかったのです。でも、せっかくのおことばですから、もう一度やってみましょう。」

ペテロは漁師としての自分の能力に自信がありました。しかし、ペテロはまた、この町の新しい先生や主であられるイエス様に何か「特別」なものを感じていました。

4) クリスマンへ ＜ローマ人への手紙 8 章 31 節＞

こんなにすばらしい恵みに対して、いったい何と言ったらよいでしょう。神が味方なら、だれが私たちに敵対できるでしょうか。

次のステップ

危機の中で主イエス様に祈った後、主イエス様はしばしば、大きな答えが私たちに示される前に私たちを前進するよう導いてくださいます。

1) モーセへ：＜出エジプト記 14 章 15 節-16 節＞

15 主はモーセに命じました。「いつまでもわたしに叫び求めないで、人々を前進させなさい。

16 杖を海（紅海）の上に差し伸べると、水が分かれて道ができる。その乾いた土の上を歩いて海を渡りなさい。

2) ヨシュアへ＜ヨシュア記 3 章 8 節＞

8 契約の箱をかつぐ祭司たちには、水ぎわに来たら水の中に立つよう命じなさい」と告げました。

3) ペテロへ：そこでペテロはイエス様に服従した！次に、魚の奇跡が起きました。＜ルカの福音書 5 章 6 節＞

6 するとどうでしょう。今度は網が破れるほどたくさんの魚がとれたのです。

7 あまりに多くて、手がつけれられません。大声で助けを求めました。仲間の舟が来ましたが、二そうとも魚でいっぱいになり、今にも沈みそうになりました。

4) クリスマンへ＜ヘブル人への手紙 12 章 1 節＞

このように、数えきれないほどの多くの証人たちが、競技場の観覧席で私たちを見つめているのです。だから、うしろへ引き戻そうとする力や、まとわりつく罪をふり捨てて、神の用意された競走を忍耐をもって走り抜こうではありませんか。

しかし、Bruce 牧師、私は前進し、私の“足は私の人生における渡ることでできない川の水の中にあるのです！” 私は次に何をすればいいのでしょうか？モーセとヨシュアとペテロに対する神様の指示は、目の前の危機に必要な奇跡をもたらしました。紅海がモーセを阻み、ヨルダン川が氾濫してヨシュアを阻み、ペテロはイエス様に不信仰でした。もしあなたがイエ

ス様の聖霊なる神様が「待て！」と言っているのが聞こえないなら、さらにもう一步、深い水の中へ進みなさい！そうです！...さらにもう一步、深い水の中へ進むのです。奇跡は起こります！奇跡は超自然的な出来事よりはむしろ自然的な出来事かもしれません。

私たちクリスチャンにとっての危機における約束

1) 神様の全能の腕が、危機を通りぬけて神様の結果をもたらします。〈ローマ人への手紙 8 章 28 節〉のとおりです。

私たちは、神を愛し神のご計画のうちを歩んでいる人のためには、その身に起こることはすべて、神が益としてくださることを知っているのです。

2) 危機を通りぬけて私たちと共にいてくださるイエス様の約束〈マタイの福音書 28 章 20 節〉 イエス様の約束：

また、弟子となった者たちには、あなたがたに命じておいたすべての戒めを守るように教えなさい。わたしは世界の終わりまで、いつもあなたがたと共にいます。」

3) もし危機の中ですべてが失敗しそうに見えても、あなたはすぐにイエス様ともに天国で安全になります。イエス様は私たちに天国の場所、すなわち天国で家を用意しておられます。〈ヨハネの福音書 14 章 3 節〉で

3 すっかり準備ができたなら迎えに来ます。わたしがいる所に、あなたがたもいられるようにするためです。

だから私たちは、クリスチャンを「クリスチャンを愛してくださる神様を通して打ち勝つ者以上に」してくださるために、これらの全ての約束がどのように一緒に結合されているかを見ることができます。聖霊なる神様は、私達の人生に次の一步を踏み出す勇気を私たちクリスチャンに与えてくださいます。神様はモーセ、ヨシュア、ペテロにも次の一步を踏み出す勇気を与えてくださったようにです。

次の〈ヨシュア記 3 章 14 節 - 16 節〉

14 箱をかつぐ祭司たちの足が川に入った瞬間、流れはせき止められるだろう。まるで見えない壁にはばまれたように、水は盛り上がるはずだ。」

15 ちょうど刈り入れの季節を迎えたヨルダン川は、岸いっぱい水たたえていました。イスラエルの民が川を渡ろうと出発し、箱をかつぐ祭司たちが足を入れた時、

16 突然、はるか川上のツアレタン付近の町アダムで水はせき止められ、盛り上がり始めたのです。また、その地点より川下の水は塩の海（死海）に流れ込み、ついに川床がむき出しになりました。こうして人々はみな、エリコの町に向かって渡ったのです。

こうして神様は、ご自分が任命した指導者ヨシュアによって、ご自分の民イスラエルのために、約束された奇跡を自然の中に行われたのです。すべてのクリスチャンは、歴史上最も重要な奇跡を自分の人生に持っています。それは、神様がイエス・キリストを墓からよみがえらせたということです。神様がイエス・キリストを墓からよみがえらせたという奇跡は、イエス様を信じる者にとっては、人類に対する地獄の計画をすべて覆すものでした。

イエス様を信じて新しく生まれ変わったクリスチャンは、神様によって川の水がせき止められ川の水が干上がった人生の川底を渡り歩きながら、新しい人生を歩み始めます。イエス様を信じて新しく生まれ変わったクリスチャンの罪の川は取り除かれました。イエス様を信じて新しく生まれ変わったクリスチャンの罪はイエス様とともに十字架に釘付けにされました。イエス様を信じて新しく生まれ変わったクリスチャンの前には、預言者エレミヤが〈エレミヤ書 29 章 11 節〉で述べたように、次のものがあります。

<エレミヤ書 29 章 11 節>

わたしは、おまえたちのために立てた計画をよく知っている。それは災いではなく祝福を与える計画で、将来と希望を約束する。

しかし、クリスチャンは一人一人、天国への旅を一步一步始めなければなりません。イエス様を信じて新しく生まれ変わるとは天国への旅を一步一步始めるその始まりに過ぎません！だからイスラエルの民もヨルダン川底を一步一步渡らなければなりませんでした。

<ヨシュア記 3 章 16 節 b-17 節>

16 こうして人々はみな、エリコの町に向かって渡ったのです。

17 箱をかつぐ祭司たちは、川の真ん中の乾いた地面に立ち、全員が渡り終えるまで待っていました。

3月16日の私のメッセージ「今まで一度も行ったことのないところ」でもお伝えしたとおりです。多くのキリスト教の歌や賛美歌は、ヨルダン川を死の象徴として使っています。こうして「ヨルダン川を渡る」は、死を通過して天国に行くように歌われます。「ヨルダン川を渡る」は、「死を通過して天国に行くこと」とは聖書的に受け入れられています。しかし、私は C.H. Spurgeon の「クリスチャンにとって死は恐怖ではない。死の前にあるつらい試練は、死がもたらすものよりもずっと大きい」という言葉に同意します。だから、私たちが死に直面する前のヨルダン川には、私たちを導いて渡るイエス様の力が必要です。越えられないと思われる私たち全てのヨルダン川は、私たちの勝者であるイエス様によって、イエス様の十字架上で征服されました。地上での私たちの人生において、イエス様の力の及ばない試練や苦難はありません。あらゆる誘惑、特に栄光への巡礼の歩みを疲れて断念させようとする誘惑は、イエス様の十字架の血潮によって無力になっています。邪悪なものからの地獄の悪意の鋭い剣は無効です。イエス様は十字架上で悪魔に勝利されたので、悪魔の矢は折られています。死そのものは、イエス様とともにいるための最後のステップにすぎません。

私たちの大祭司であるイエス様は、<ヨシュア記 3 章 16 節 b-17 節>にあるように、私たちのヨルダン川の真ん中に立っておられます。

<ヨシュア記 3 章 16 節 b-17 節>

16 こうして人々はみな、エリコの町に向かって渡ったのです。

17 箱をかつぐ祭司たちは、川の真ん中の乾いた地面に立ち、全員が渡り終えるまで待っていました。

すべてのイスラエルの民が {乾いたヨルダン川の川底} を渡ったときでさえ、イエス様はご自分の羊を一匹も失われませんでした。聖書は<ヘブル人への手紙 7 章 25 節>で言っているからです。：

<ヘブル人への手紙 7 章 25 節>

また、ご自分を通して神のもとに来る人々を、完全に救うことができになります。永遠に生きておられるキリストは、いつも神のそばで、ご自分の血によって彼らの罪が帳消しになるようにとりなしてくださるのです。

ヨルダン川を渡った記念碑： さて、聖書は<ヨシュア記 3 章 12 節>で、神様がこの 12 人にどのような目的を持たれたかを語っています。

<ヨシュア記 3 章 12 節>

今、各部族から一人ずつ、十二人を選びなさい。

<ヨシュア記 4 章 1 節-3 節>を読みます。

<ヨシュア記 4 章 1 節-3 節>

1 人々が無事に渡り終えた時、主はヨシュアに語りました。

2・3 「各部族から一人ずつ選ばれた十二人に命じて、ヨルダン川の真ん中の、祭司が立っている所から、一つずつ石を拾わせなさい。その十二の石を集めて、今夜野営する地に記念碑として積み上げなさい。」

私たちの人生には、ある勝利から私たちの次の越えられない川へと向かうという挑戦がしばしばあります。ある勝利から私たちの次の越えられない川へと向かうという挑戦は、神様が与えてくださった過去の勝利へ神様に感謝し続けることを私たちが簡単に忘れるようにさせます。神様が与えてくださった過去の勝利へ神様に感謝し続けることは、私がすでに述べた特別な種類の祈りが必要です。「感謝の祈り」（ギリシャ語では eucharista）は、過去の同じような状況での祈りに神様から答えをいただいたことを振り返ります。

「感謝の祈り」のタイプは、主なる神様がイスラエルに、渡れないヨルダン川を無事に渡らせてくださった記念として部族ごとに石を一つずつ与えたときのように、記念と見なされます。私たちは、そのような「感謝の祈り」の記念を頭と心に留めておくよう、心を鍛える必要があります。「感謝の祈り」の記念を頭と心に留めておくよう、心を鍛える一助として、私はすべての新米クリスチャンに、ディボーションの時間やクリスチャンの信仰体験について毎日日記を始めるよう指導しています。ディボーションの時間やクリスチャンの信仰体験について毎日日記を始めるのは、しばしば次の越えられない川の試練ために力を発揮します。私たちは、聖書に登場する信仰の英雄たちが、現代のクリスチャンよりも優れていると安易に考えています。聖書に登場する信仰の英雄たちが、現代のクリスチャンよりも優れているという安易な考えは、聖書に登場する信仰の英雄たちの勇姿の源である主なる神様ご自身に対する侮辱です！私がいつも言っているのは、「神様のような偉大な人はいない、ただ神様がいかに偉大であるかをより深く理解した人がいるだけだ」ということです。神様の子には皆、恐怖と敗北を克服するための信仰と勇気を聖書に登場する信仰の英雄たちに創り出した同じ聖霊なる神様が宿っています。

1971 年宇宙航空研究開発機構（NASA）の奇跡

さて、2月9日の『勇気とともに広がる人生』と題した私のメッセージの続きです。一見すると財政的・教会成長的災難のような大阪インターナショナル・チャーチと NASA のアポロ 13 号宇宙船の危機と災難との比較です。：

1971 年、3 人のアメリカ人宇宙飛行士が月面着陸を目指した宇宙船の中で死にかけていました。技術的な災害が発生しました。酸素タンクを定期的に攪拌していたところ、内部の損傷したワイヤー絶縁体に引火し、爆発が起こり、サービスモジュールの両方の酸素タンクの内容物が宇宙空間に放出されました。そのため、宇宙飛行士たちはより小さな酸素タンクを搭載した、より小さな再突入モジュールに押し込められました。宇宙飛行士たちの死が現実視されたのは、呼吸に必要な空気が不足しただけでなく、空気のフィルターシステムが失われたからです。アポロ 13 号のフライトディレクターであった Gene Kranz は、このミッション、アポロ 13 号、そして NASA 自体の失敗を予言する多くの人々の声を聞いていました。彼はこのように公言しています。「私は、これが私たちの最良の時になると信じています。我々は勝利し、この宇宙飛行士達は死にません。〔人々が語っている失敗や死は〕私は断固として認めない。

地上のエンジニアたちの驚くべき創意工夫により、宇宙船内のダクトテープやさまざまなものを使って空気清浄機（スクラバーシステム）が発明されました。これは神様の慈悲でした。全世界が祈り始めたからです。その模様は国際放送で放映されました。神様が介入し、不可能が現実となり、3人の宇宙飛行士は6日後に無事帰還しました。私は敗北を予測する周囲の批判で危機的状況のときの Gene Kranz の姿勢に同意します。同じようにこの危機的な OIC の状況が OIC にとって最良の時になると信じています。私は神様の愛が私たちのドアから溢れ出て滅びゆく都市、大阪に到達するまで、神様の愛が天から私たち OIC に降り注ぐのを信じます。

主なるイエス様の愛の力が流れるとき、主なるイエス様は私たちを OIC の渡れない川を渡らせてくださいます。始めましょう.....いいえ。御言葉と御霊の中で続けましょう...。神様が私たちの「使命」を失敗させることなく、OIC の「最高の時」となるように、Gene Kranz のような私たち OIC のイエス様を信じる者は真剣に祈ることができます。教会史におけるすべての神様の偉大な動きは、祈りから始まりました。私は GOOGLE MEET を通じてコンピューターで参加することも含め、このための特別祈祷会にわたしたち全員を招集するつもりです。特別祈祷会は、プログラムの人的な計画を実行に移す前に行わなければなりません。人的な計画のプログラムが重要であることには同意します。しかし、プログラムの人的な計画の実行は、越えられない紅海に直面したモーセのように、教会として神様に叫んでからでなければなりません。

私たちは皆、時として洪水時のヨルダン川のような、「渡れない川」のような試練に直面することがあります。ヨシュアの神様は私たちの神様でもあります。私たちの神様は、自然的な状況も霊的な状況も、ヨルダン川のように干上がらせる力を持っておられます。だから私たちは、イエス様と一緒に渡って行き、前に進むことができます。だから、私たち一人ひとりに、自分だけの越えられないヨルダン川があります。私たちは祈りの力を決して忘れてはなりません。あなたの小さな信仰や人間の弱さを見てはいけません。しかし、私たちの主イエス様の誠実さを見てください。イエス様の異父兄弟ヤコブが書いた<ヤコブの手紙 5 章 16 節-17 節>で、神様の力の預言者エリヤの人的弱さを示しました。

<ヤコブの手紙 5 章 16 節-17 節>

16 ですから、互いに罪を告白し、祈り合いなさい。正しい人の祈りは大きな力があり、驚くほどの効果があります。

17 エリヤは私たちと変わらない人でしたが、雨が降らないようにと熱心に祈ると、三年半ものあいだ一滴の雨も降りませんでした。

神様の力を信じ、強く、粘り強く祈りましょう。  
祈りましょう。.